

PFAS セッション開設にあたって

岸川禮子（国立病院機構福岡病院アレルギー科）

欧米では花粉と食物の交差抗原に関する研究が進み、**Molecular Allergology** の国際シンポジウムが毎年開催される中で花粉に関する演題が数多く報告されています。我が国では2000年代に入り特定の花粉と野菜・果実アレルギーが報告され始めました。今後 **pollen-Food Allergy Syndrome** が本学会花粉症分野で展開され、基礎演題を含め、より多くの会員にとって花粉関連食物アレルギーの知識を深める発表の場となることが強く望まれます。